

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

1 要旨・目的

平成30年7月豪雨に係る農地・農業用施設の災害復旧事業については、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン進捗状況（令和5年6月公表）」のとおり、概ね令和5年度で完了する見込みであったが、庄原市が実施主体の工事のうち11箇所において、地権者との協議が難航したこと等により、令和5年度までに完了しなかった。

このため、引き続きその進捗状況等について報告する。なお、他市町が実施主体の工事は全て令和5年度までに完了した。

2 農地・農業用施設災害復旧事業の進捗について

令和5年3月末までに農地・農業用施設4,235箇所全ての実施箇所について契約を終え、令和6年5月末現在、4,226箇所（99.8%）の工事が完了している。

施設名	実施箇所 ※	契約済			工事完了		
		3月末まで ①	4～5月 ②	5月末まで ①+②	3月末まで ①	4～5月 ②	5月末まで ①+②
農地・農業用施設	4,235 (4,924)	4,235 (100%)	0	4,235 (100%)	4,224 (99.7%)	2	4,226 (99.8%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和6年5月末現在）

（ ）は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数、（ ）は進捗率。

3 今後の見通しについて

庄原市の11箇所で行われた令和5年度内の完了が困難となっていたが、これまでに2箇所の工事が完了し、現在、9箇所の工事が施工中である。

工種	農地	道路	水路	揚水機	頭首工	ため池	合計
施工中（5月末）	1	0	5	0	0	3	9

4 災害復旧工事の完了が遅延している箇所への取組

現在施工中の9箇所については、県と庄原市が連携し、地権者との協議調整等を進めた結果、全ての箇所で工事に着手できることとなった。

引き続き、庄原市との連携を密にし、災害復旧工事の進捗管理を徹底することにより、令和6年中の早期の工事完了を目指す。

なお、被災受益の農地については、仮設パイプや仮畦畔などにより全ての箇所で営農が再開されており、今後についても大きな支障がないことは確認している。